

## 11月14日 上トマム 環境整備作業

ヒグマによる人身事故のリスクを低減する方法として、市街地周縁部で行う草刈りはよく知られています。本村でもヒグマの市街地接近が比較的に多い上トマムを中心に行っており、主に初夏、イタドリやフキ、イラクサなどの高茎草本を刈り倒し、地表の見通しをよくするとともに、ヒグマのエサの除去を図っています。そうした作業中に気付くこととして、草以外の、高い木の下枝や低木、片付けられていない倒木や落枝も視程にかなり影響していること、またそれらが草刈りの障害にもなっていることがあります。そこで今回は、草が枯れた時期を狙って、村道の法面などに生えた雑木を除去する作業を実施しました。

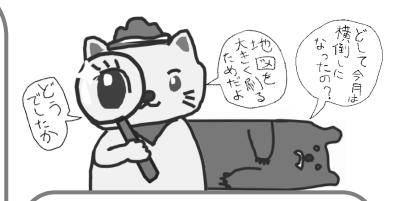


当日はあいにくの雪模様でしたが、村職員と 近隣の農業者、おなじみ酪農大生など10名ほ どで、村道循環線やトマム学校校庭北側、トマ ム保育所南側で作業を実施しました。チェーン ソーや手鋸で小径木や枝条を片付けたほか、可 搬ポンプと洗浄ノズルで歩道に堆積した土や落 葉を除去しました。伐倒したヤナギやハンノキ の幹は薪にするため集積しました。

今回の作業が来年のヒグマ対策に効果を発揮できるか否かは、来年の然るべき時期に草刈りをすることと、改善された視程を活かしてヒグマの早期発見に努めることにかかっています。 どれかひとつかやれば済むわけではないヒグマ対策、これからも地域の皆さまと一緒に、様々な手法を重ねて取り組んでまいります。

(今回の作業は、農林水産省鳥獣被害防止総合対策交付金~クマ特別対策事業を利用しました)





## ヒグマミーティング 今年度もやりましょう!

「ヒグマ知」の普及を通じて「ヒグマに強い地域づくり」を目指す勉強会です。冬の開催が恒例となっていますが、いかほどの効果があるのか、どんな形態がよいのか、どんな内容が求められているのか、毎回が試行錯誤な上、正直なところ、その手応えもいささか心許ないところです。

さてはてこの冬はいかがしましょうか。計画はまだ白紙ですので、ぜひとも皆々様からご意見やご要望をお寄せいただき、有意義な内容にしたいと存じます。



昨年度(第8回)の様子

占冠村役場 農林課 林業振興室 電話 0 1 6 7 - 5 6 - 2 1 7 4